

「末吉小学校の川内棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	曾於市立末吉小学校
2. 学年・人数	5年生 107人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年4月16日 末吉町 南部地区公民館 (2) 発表の日時・場所 令和7年5月25日 春季大運動会 末吉小学校校庭
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 川内棒踊り（かわちぼうおどり） (2) 由来 棒踊りは、島津義弘公の朝鮮出兵の祭、士気を鼓舞するために棒術を踊りに仕組んで踊らせたのが始まりと言われている。 川内棒踊りは、昭和の初め頃に最初に踊ったと言われ、戦時中一時途絶えていたが1957（昭和32）年に復活し、住吉神社の例祭などで踊られてきたが、若者の町外流出で途絶えがちになり、1980（昭和55）年に保存会を結成し、現在に至っている。 (3) 構成 踊りは6人1組で3尺の木剣と6尺棒で打ち合い、サー・エイ・エイと声を弾ませながら勇壮に踊る。 歌詞 オセロが山は 前は大川 霧島松は 黄金花咲く
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携協力しながら棒踊りを継承するために、5年生担任が公民館へ出向いて指導を受けに行き、その内容を子供たちへ伝えている。また、練習の途中には、地域の方々に参観していただき、直接指導を受ける機会も設けている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 <p>【運動会での披露】</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・ 見ているときは簡単そうだったけど、やってみると難しかった。 ・ 難しかったけど、練習しているうちに楽しくなって、かっこよく踊れるようになった。